

令和 3 年 上半期

火災・救急・救助の概況



NIIGATA JOETSU AREA FIRE DEPT.
上越地域消防局

目 次

火災概況.....	1
1 火災発生状況.....	1
2 出火原因	2
3 火災による死傷者.....	3
4 損害額の推移	3
5 住宅用火災警報器.....	4
救急概況.....	5
1 救急出場状況.....	5
2 救急搬送人員	7
救助概況.....	8
1 救助出場状況.....	8
2 救助人員	9

火災概況

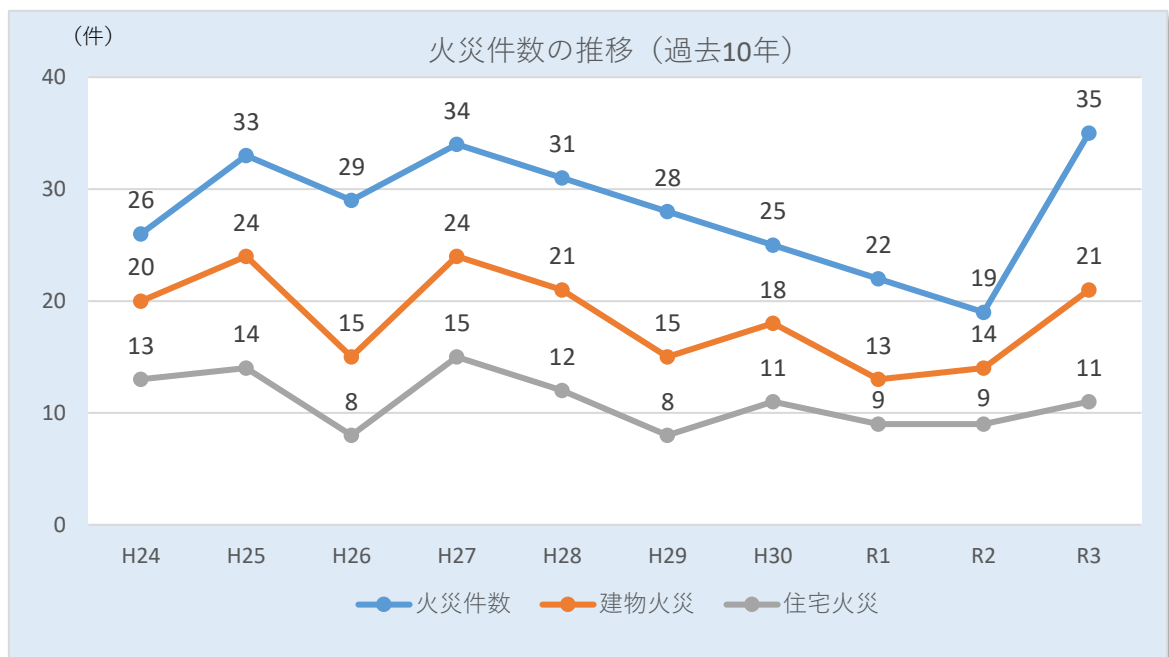
1 火災発生状況

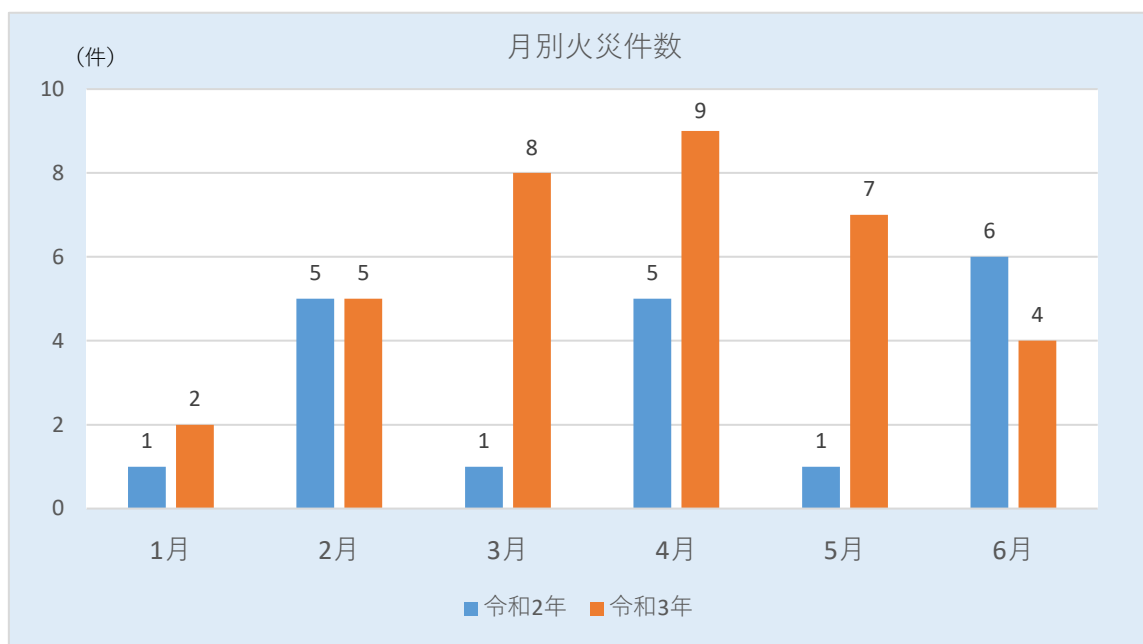
令和3年上半期の火災発生件数は35件で、過去10年間で最も多い件数となりました。
火災種別では、建物火災が21件と最も多く、そのうち住宅火災は11件でした。
月別件数でみると、3、4月で約半分を占める17件の火災が発生しました。

上半期火災発生状況

	令和3年 (件)	構成比 (%)	令和2年 (件)	構成比 (%)	増減 (件)
火災件数	35	100.0	19	100.0	16
建物火災	21	60.0	14	73.7	7
住宅火災	11	(31.4)	9	(64.3)	2
林野火災	1	2.9			1
車両火災	7	20.0	1	5.3	6
その他火災	6	17.1	4	21.0	2

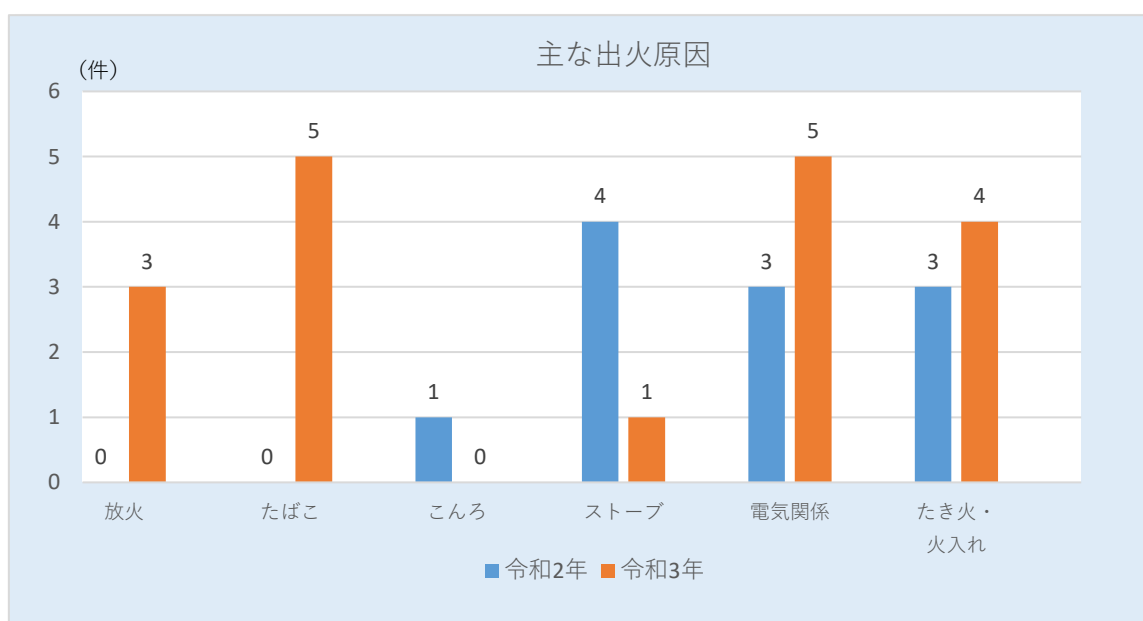
※（ ）は全火災件数に対する構成比





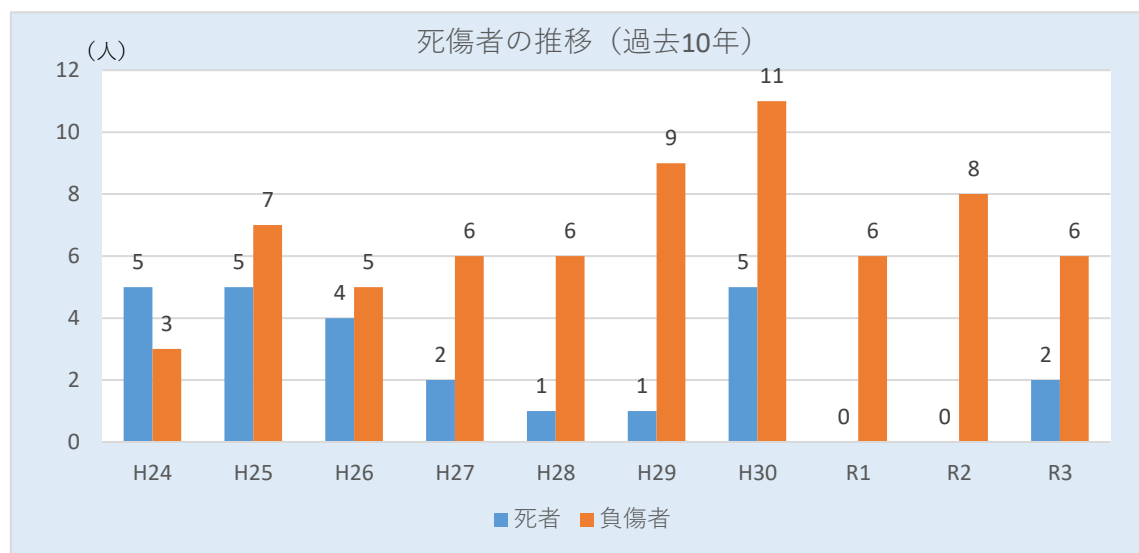
2 出火原因

令和3年上半期の主な出火原因を見ると、「たばこ」と「電気関係」が最も多く、それぞれ5件の火災が発生しています。4、5月に多く発生した「たき火・火入れ」は4件、昨年0件だった「放火」は3件でした。



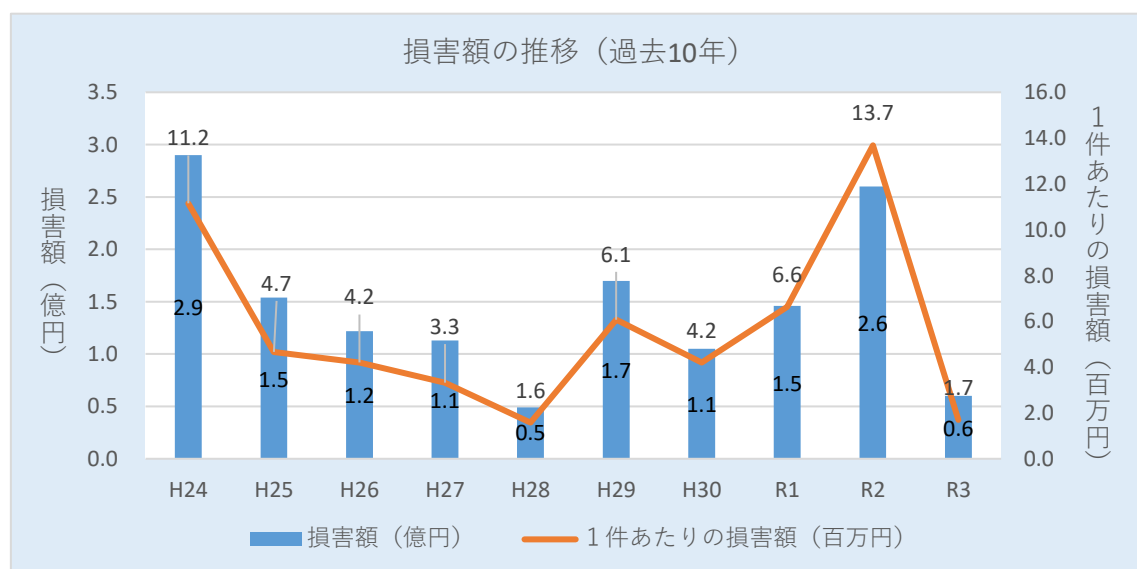
3 火災による死傷者

令和3年上半期の火災による死者は2人、負傷者は6人でした。死者の2人はいずれも建物火災で発生しています。



4 損害額の推移

令和3年上半期の損害額は、0.6億円、1件あたり1.7百万円で、平成28年に次いで少なくなりました。



5 住宅用火災警報器

令和3年6月1日時点における上越地域消防局管内の住宅用火災警報器（以下、「住警器」という。）の設置率は94.8%、条例適合率は64.9%でした。また、作動確認を実施した世帯のうち、全体の13.7%に何らかの不具合が見つかりました。

※設置率：火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のうち、1か所以上設置されている世帯の全調査世帯に占める割合

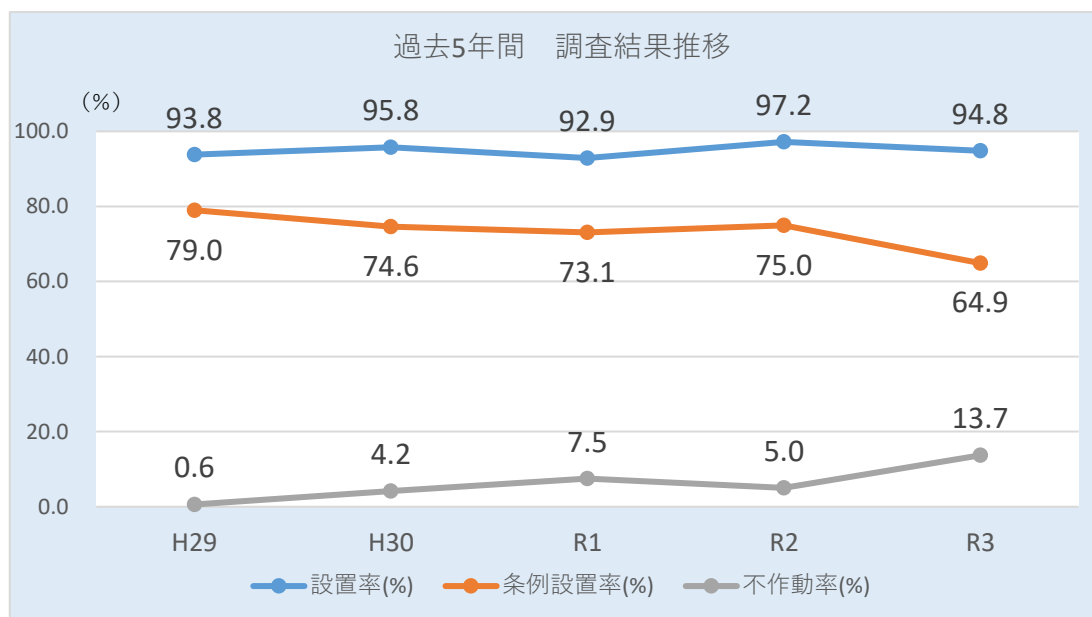
※条例適合率：火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のすべてに設置されている世帯の全調査世帯に占める割合

※不作動率：作動確認をした世帯のうち、点検時に電池切れや故障等の不具合

	令和3年	令和2年	増減
設置率	94.8%	97.2%	△2.4
条例適合率	64.9%	75.0%	△10.1
不作動率	13.7%	5.0%	8.7

過去5年間の調査結果推移をみると、設置率は95%前後である一方で、電池切れや故障といったいわゆる「不作動率」が上昇傾向にあります。

一般的な家電製品と同じく交換の目安は10年と言われており、管内でも平成23年の法制化後、速やかに設置した世帯では既に機器が寿命を迎えているおそれがあります。



救急概況

1 救急出場状況

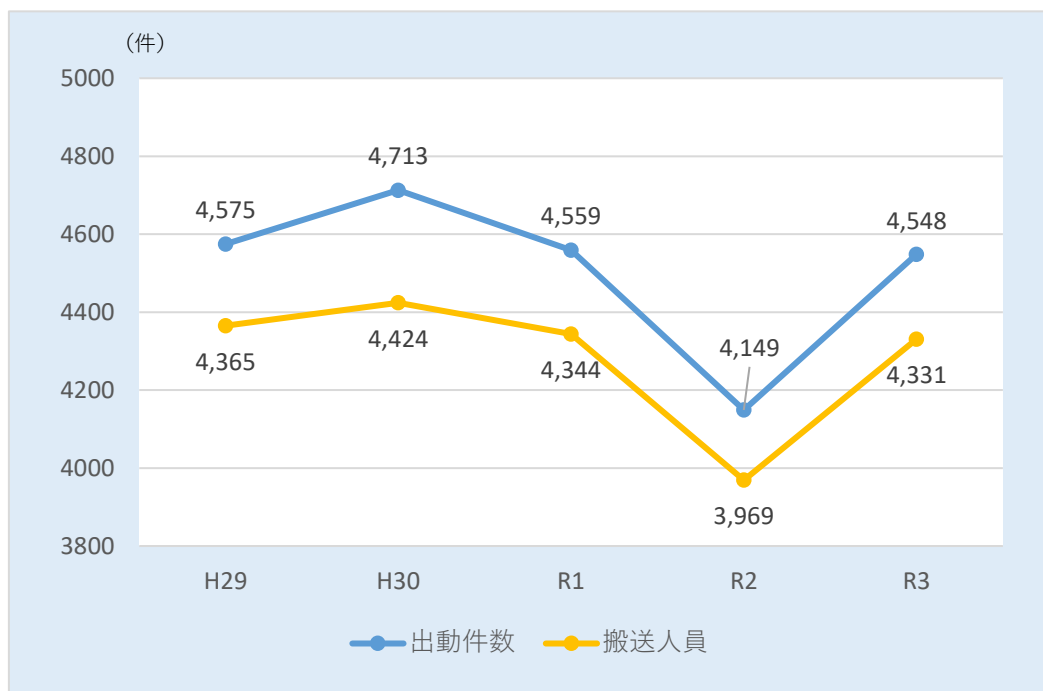
令和3年上半期の救急出場件数は4,548件で、1日平均25件、約58分に1件の割合で救急車が出場したことになります。

前年と比べ、出場件数は399件、搬送人員は362人増加しております。

上半期救急出場状況

	令和3年	令和2年	増減
出場件数	4,548	4,149	399
搬送人員	4,331	3,969	362

上半期救急出場の推移



令和3年上半期 火災・救急・救助の概況

救急出場件数を事故種別で見ると、最も多いのが「急病」で2,817件、全体の61.9%を占めています。次に「一般負傷」の793件で17.4%、「転院搬送」が600件で13.2%、「交通事故」が157件で3.5%となっています。

上半期事故種別救急出場件数

事故種別	令和3年上半期	構成比(%)
急病	2,817	61.9
一般負傷	793	17.4
交通事故	157	3.5
労働災害	66	1.5
自損行為	41	0.9
加害	5	0.1
火災	4	0.1
運動競技	18	0.4
水難事故	6	0.1
自然災害	5	0.1
その他	36	0.8
転院搬送	600	13.2
合計	4,548	100.0

上半期月別救急出場状況

	令和3年	令和2年	増減
1月	973	839	134
2月	698	694	4
3月	693	700	△7
4月	718	644	74
5月	741	650	91
6月	725	622	103

2 救急搬送人員

令和3年上半期の救急搬送人員は4,331人で、そのうち上越市が82.4%、妙高市が17.5%でした。

また、全搬送人員のうち高齢者が占める割合は、70.7%となっています。

上半期地域別救急搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者		計	構成比 (%)
						高齢者割合 (%)		
上 越 市	9	71	62	854	2,683	71.5	3,679	82.4
妙 高 市		14	16	178	437	67.0	645	17.5
他 市 町 村				6	1		7	0.1
合 計	9	85	78	1,038	3,121	70.7	4,331	100.0

※ 新 生 児 : 生後28日未満
 ※ 乳 幼 児 : 生後28日以上～7歳未満
 ※ 少 年 : 7歳以上～18歳未満
 ※ 成 人 : 18歳以上～65歳未満
 ※ 高 齢 者 : 65歳以上

全搬送人員に占める軽症者の割合は平成29年以降、概ね45%前後で推移しています。

上半期傷病程度別救急搬送人員

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
軽 症	1,980	1,983	1,904	1,753	1,822
中 等 症	1,776	1,802	1,791	1,668	1,930
重 症	494	507	519	429	468
死 亡	115	132	129	119	111
合 計	4,365	4,424	4,343	3,969	4,331

※ 軽 症 : 入院を要しないもの
 ※ 中 等 症 : 21日未満の入院を要するもの
 ※ 重 症 : 21日以上入院を要するもの
 ※ 死 亡 : 初診時死亡が確認されたもの

救助概況

1 救助出場状況

令和3年上半期の救助出場件数は27件で、昨年より16件増加しています。また、出場件数のうち、活動件数は19件で、昨年より15件増加しています。

特に、大雪に伴う「自然災害」が多く発生しています。

上半期救助出場・活動状況

事故種別	出場件数			活動件数		
	令和3年	令和2年	増減	令和3年	令和2年	増減
合 計	27	11	16	19	4	15
火 災	2		2	2		2
交 通 事 故	4	5	△ 1	4		4
水 難 事 故	3	2	1	2	1	1
自 然 災 害	7		7	4		4
機 械 事 故	5	3	2	3	2	1
建 物 等 事 故	2		2	2		2
ガス酸欠事故						
爆 発 事 故						
その他事故	4	1	3	2	1	1

※その他事故：山岳事故、転落事故など

令和3年上半期 火災・救急・救助の概況

上半期地域別救助出場件数

		救 助 事 故 種 別								出場件数		増 減	
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 等 事 故	ガ ス 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 事 故	令 和 3 年		令 和 2 年
上 越 市		2	3	3	7	4	2			4	25	11	14
妙 高 市			1			1					2		2
他 市 町 村													
合 計	令和3年	2	4	3	7	5	2			4	27	11	16
	令和2年		5	2		3				1	11		
増 減		2	△ 1	1	7	2	2			3	16		

2 救助人員

令和3年上半期の救助人員は20人で、昨年より15人増加しています。

上半期地域別救助人員

		救 助 事 故 種 別								出場件数		増 減	
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 等 事 故	ガ ス 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 事 故	令 和 3 年		令 和 2 年
上 越 市			3	2	6	3	2			2	18	5	13
妙 高 市			2								2		2
他 市 町 村													
合 計	令和3年		5	2	6	3	2			2	20	5	15
	令和2年			2		2				1	5		
増 減			5		6	1	2			1	15		